全国ICT教育首長協議会　提言2017(案)

「エデュカッション」：全国ICT教育首長協議会ならでは の動き

→ 「提言」アンケート　回答数　59件

３つのテーマ

・首長が動く

・国と動く

・産学と歩む

全国ICT教育首長協議会　提言2017(案)

アンケートにご協力いただいた自治体のなかで

本日、総会に参加されている首長の皆様に

ご意見・取り組みをご紹介いただきます。

提言アンケートより

自治体の悩み

地域間格差
地方都市は教育機器・サービス等を知る機会が少ない

整備財源不足

個人情報・セキュリティ
機器導入後、５～７年後の更新時に必要な予算確保

ＩＣＴ環境を充実するにはお金がかかりすぎる
小さな市町村では財政に限界

教育のICT化による学校間の効果格差
教員のＩＣＴ教育に関する技術向上

教員の多忙・負担感
多忙化・多様化が進む学校現場

どのように環境整備を行っていけばよいか不安

情報不足
教育委員会の中に、ＩＣＴに関する専門的な知識をもつスタッフがいない

次期学習指導要領への対応
明治維新以来の大改革

10年後 65%は今存在しない職業に就く

ＩＣＴ支援員不足
ＩＣＴ教育に係る人的・物的体制の確保

プログラミング教育
プログラミング教育等に係るスタッフの育成

特別支援教育におけるICTの活用

教育格差

費用対効果

説明責任

遅れるネット整備
社会インフラとしての高速インターネット

地域の人材育成

貧困の連鎖

人口減少社会対応

提言アンケートより

協議会への要望

実行できる課題への集中

自治体からの要望を取りまとめ

地域差のおこらない整備の推進

国への要望行動の強化

一人１台のための国の予算措置

教育ＩＣＴ加速化

地域間格差

整備財源不足

個人情報・セキュリティ

財源確保等の方法の共通理解

ICT活用の学力向上に対する効果の検証

自治体間のＩＣＴ教育への対応に関する情報共有

より認知度を高め全国展開を

地道な日々の授業でICTをどう生かしていくのかを考える組織

遠隔地への情報発信・非認知能力向上を目指したICT活用

ICT教育の推進を強力にリードする団体

教員の多忙・負担感

首長同士の意見交換や情報共有の場

未加入自治体から加入メリットが見えやすいように推進PR活動を充実

多忙な教育現場の負担を軽減するICT導入

実務担当者同士の情報交流の場

情報不足

次期学習指導要領への対応

成功事例・課題・失敗事例まとめ・効果的なモデル事業の創出

教育の質的向上に必要なＩＣＴの推進

ＩＣＴ支援員不足

プログラミング教育

情報モラルについても議題を

教育格差

格安「アカデミーパッケージ」を提供していけるような連携

費用対効果

説明責任

遅れるネット整備

地域の人材育成

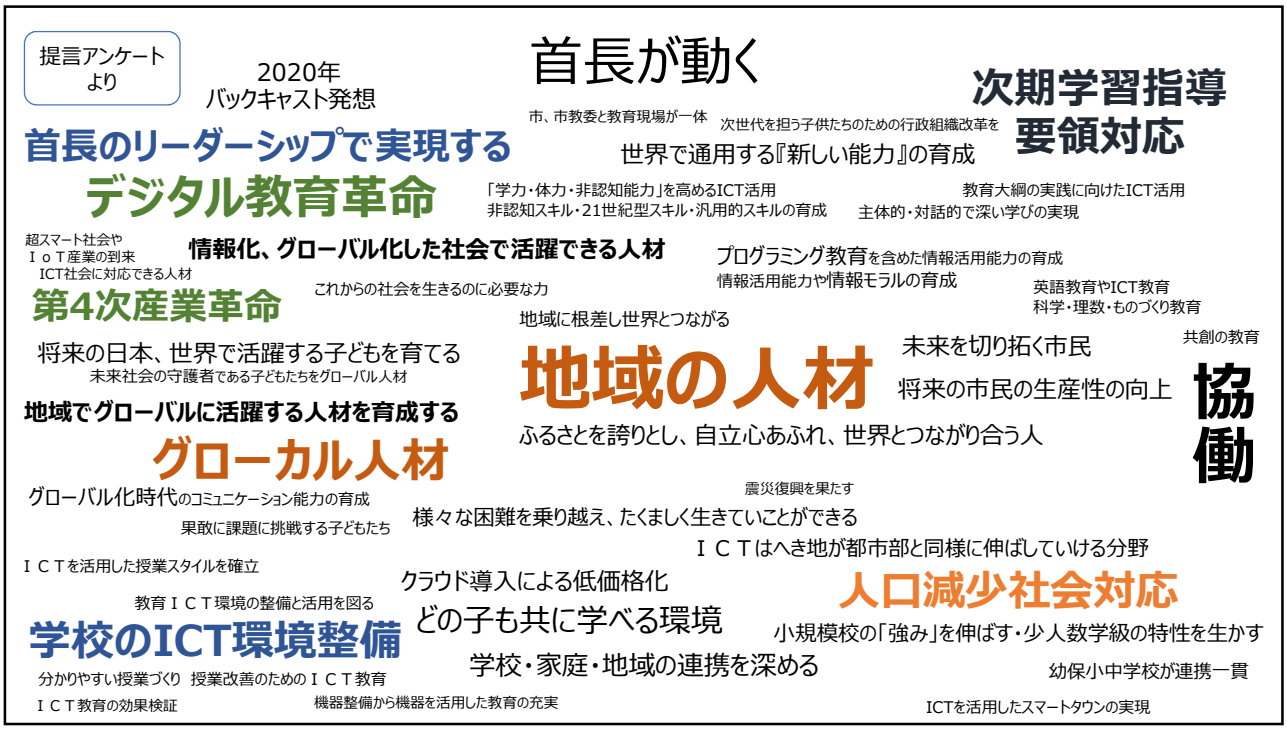
貧困の連鎖

人口減少社会対応

ＩＣＴが安価で教育現場に提供できるような工夫
教育クラウドプラットフォームを活用した共同調達

省庁・民間企業・団体との連携体制の構築

協議会が推奨するＩＣＴ教育を推進していくための基本的な仕様



提言１【首長が動く】

首長がリーダーシップを発揮して、ＩＣＴ教育環境充実に取り組むことで、地域の未来を創る人材を育成する

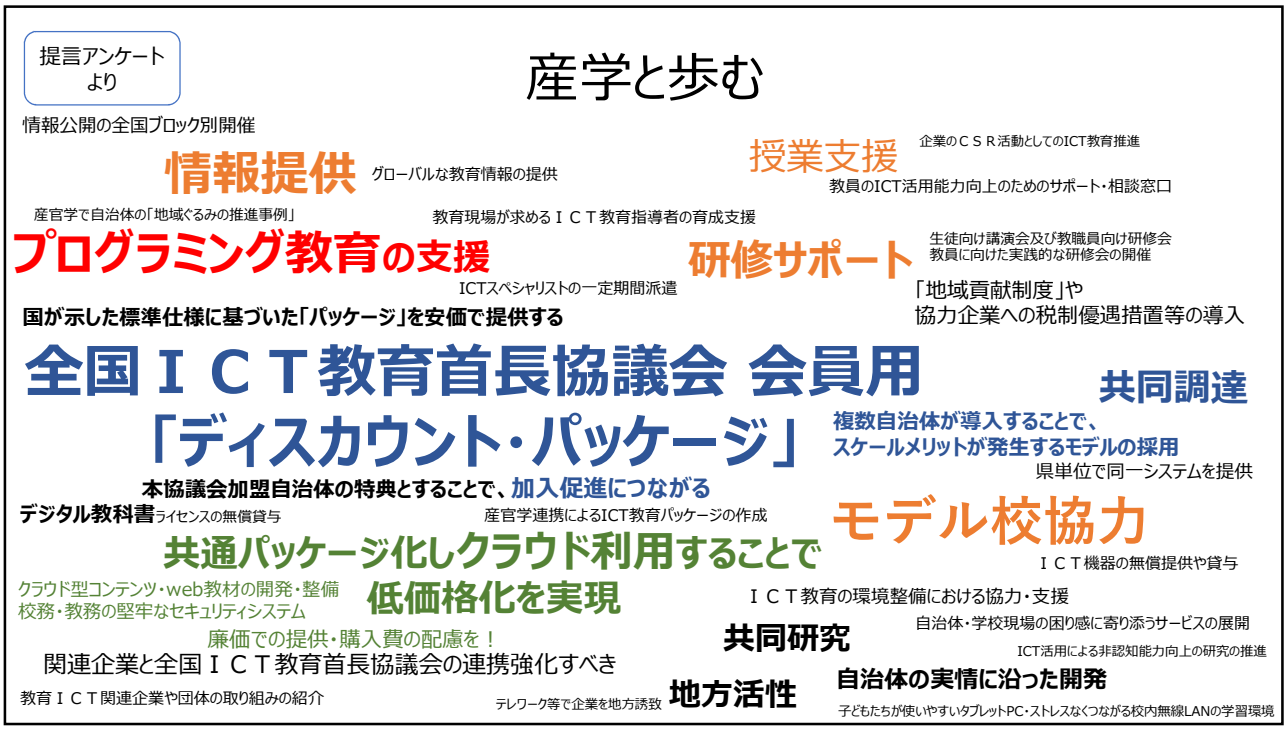
・地方財政におけるＩＣＴ教育の優先順位を引き上げ、地域に貢献する第４次産業革命人材を育成する

・教育委員会のみならず、自治体全体の組織を挙げて、デジタル・トランスフォーメーションを行う

提言２【国と動く】

首長がともに連動して次期「学習指導要領」の有効な実現に向けた財政支援及び各種取り組みの充実を政府に要望する

- 「学校ＩＣＴ環境整備のための補助金」創設など、学校ＩＣＴ環境整備推進施策の実施
- 教職員の業務負担軽減のための校務の情報化の推進、データ活用による次世代の校務情報化の推進
- 情報活用能力の育成に向けた実践的研究の継続的な推進
- プログラミング教育の円滑な実施に向けた教材開発の促進や研修、人的支援の充実



提言３【産学と歩む】

協議会が産学と連携して、国の施策推進に取り組むことで、全国的な学校ＩＣＴ環境整備と教育充実の起爆とする

- 次期学習指導要領が求めるＩＣＴ環境を廉価に実現するために「全国ＩＣＴ教育首長協議会向けの特別パッケージ」を産業界に要請する
- 全国的なモデル校の協力、研修サポート、プログラミング教育等の支援や創造を産学に要請し、ともに開発に努める

全国ICT教育首長協議会　提言2017（案）

提言１【首長が動く】

首長がリーダーシップを発揮して、ＩＣＴ教育環境充実に取り組むことで、地域の未来を創る人材を育成する

- 地方財政におけるＩＣＴ教育の優先順位を引き上げ、地域に貢献する第４次産業革命人材を育成する
- 教育委員会のみならず、自治体全体の組織を挙げて、デジタルトランスフォーメーションを行う

提言２【国と動く】

首長がともに連動して「次期学習指導要領」の有効な実現に取り組むための「学校ＩＣＴ環境整備のための補助金」創設を政府に要望する

- 「学校ＩＣＴ環境整備のための補助金」創設など、学校ＩＣＴ環境整備推進施策の実施
- 教職員の業務負担軽減のための校務の情報化の推進、データ活用による次世代の校務情報化の推進
- 情報活用能力の育成に向けた実践的研究の継続的な推進
- プログラミング教育の円滑な実施に向けた教材開発の促進や研修、人的支援の充実

提言３【産学と歩む】

協議会が産学と連携して、国の施策推進に取り組むことで、全国的な学校ＩＣＴ環境整備と教育充実の起爆とする

- 次期学習指導要領が求めるＩＣＴ環境を廉価に実現するために「全国ＩＣＴ教育首長協議会向けの特別パッケージ」を産業界に要請する
- 全国的なモデル校の協力、研修サポート、プログラミング教育等の支援や創造を産学に要請し、ともに開発に努める

全国ＩＣＴ教育首長協議会 提言２０１７（案）

我々、全国ＩＣＴ教育首長協議会は、文部科学省の「2020年代に向けた教育の情報化に関する懇談会（主査：堂故茂前文部科学大臣政務官）」最終まとめ（平成28年７月）において、学校のＩＣＴ環境の整備について教育委員会と地方公共団体の長が連携協力して取組を進めていくことの必要性が提言されたことも踏まえ、ＩＣＴを活用した新しい教育方法が有効であると考える全国の首長有志として集い、我が国のＩＣＴ教育に対する理解やＩＣＴ教育環境整備、及び制度改革推進に資することを目的として設立した。

現在の我が国の子供たちは、日本で進む「人口減少社会」と世界に広がる「第４次産業革命」という激しい時代の変化に将来直面する。その時代テーマを克服するためにも、ＩＣＴを駆使し情報活用能力を育成する新たな時代に対応するための教育（STEM・プログラミング教育、グローバル・英語教育、主体的・協働的で深い学び等）を実現し、地元・地域などローカルにありながらも、グローバルに活躍できる未来の人材を育成することは、自治体の存続にとっても、日本の国家デザインとしても急務の課題であり、最重要な事項だと考える。

このような時代潮流を踏み、政府においては、第２期教育振興基本計画（平成25年６月14日閣議決定）を踏まえ、「教育のＩＴ化に向けた環境整備４か年計画」が策定された。しかしながら、地方自治体でのＩＣＴ機器整備等がなかなか進まないのが現状であり、我々自治体の長としても大変危惧しているところである。

そのような観点に立ち、２０２０年に向けての大きな教育改革に向け、全国ＩＣＴ教育首長協議会として、未来にふさわしい新しい学びを実現するための環境整備のため、以下の提言を行うものである。

提言１【首長が動く】

首長がリーダーシップを発揮して、ＩＣＴ教育環境充実に取り組むことで、地域の未来を創る人材を育成する

- 地方財政におけるＩＣＴ教育の優先順位を引き上げ、地域に貢献する第４次産業革命人材を育成する
- 教育委員会のみならず、自治体全体の組織を挙げて、デジタルトランスフォーメーションを行う。

提言２【国と動く】

首長がともに連動して次期「学習指導要領」の有効な実現に向けた財政支援及び各種取り組みの充実を政府に要望する。

- 「学校ＩＣＴ環境整備のための補助金」創設など、学校ＩＣＴ環境整備推進施策の実施
- 教職員の業務負担軽減のための校務の情報化の推進、データ活用による次世代の校務情報化の推進
- 情報活用能力の育成に向けた実践的研究の継続的な推進
- プログラミング教育の円滑な実施に向けた教材開発の促進や研修、人的支援の充実

提言３【産学と歩む】

協議会が産学と連携して、国の施策推進に取り組むことで、全国的な学校ＩＣＴ環境整備と教育充実の起爆とする

- 次期学習指導要領が求めるＩＣＴ環境を廉価に実現するために「全国ＩＣＴ教育首長協議会向けの特別パッケージ」を産業界に要請する
- 全国的なモデル校の協力、研修サポート、プログラミング教育等の支援や創造を産学に要請し、ともに開発に努める